



子どもたちの笑顔広がる夏まつり

子どもたちに夏の楽しい思い出をつくってもらおうとみらいえで「こどもプラザ夏まつり」を開催しました。訪れた約200人の親子が工作やシューティングゲームなど、思い思いの体験を楽しみました。市内の小中高生「こどもプラザキッズジュニア・サポーター」が企画・運営したところでは、子どもたちがサイコロを転がし、止まったマスのミッションに挑戦。保護者が見守る中、夢中で取り組んでいました。〔8月9日〕



3 中学校美術部合同展

西脇中、西脇南中、西脇東中の美術部による合同美術展が岡之山美術館で開催されました。生徒たちは放課後の時間を使い、水彩画や油絵、イラスト、紙や粘土を使った立体造形、デジタルアートなど多彩な作品を制作。前期と後期で展示を入れ替え、計163点を展出了。生徒たちは展示作業にも参加。作品の向きや間隔を工夫し、来場者が楽しめる空間を作りました。〔7月30日～8月26日〕



自然の中で特別体験一夏の里山Dayキャンプ

ほうた自然学校「夏の里山Dayキャンプ」が木谷山キャンプ場で行われ、市内外から33人の子どもたちが参加しました。

そうめん流しでは、竹で組んだ台を前に、子どもたちが目を輝かせて流れるそうめんを追いかけ、つかまえたそうめんを口いっぱい頬張りました。

カレー作りでは、子どもたちが野菜の皮のむき方を教え合い、声を掛けながら調理を進めるほほましい姿が見られました。

ほうた自然学校の荒木明博校長は「自然を楽しみ、子ども同士で協力しながら自立心を育てほしい」と話しました。子どもたちは「家とは違う場所で料理ができて楽しかった」「自分たちで作ったご飯はおいしい」と笑顔で話し、里山での一日を満喫しました。〔7月25日〕



屋上テラスを幻想的に

市民交流施設の屋上テラスを開放し、夜間ライトアップ「光のルーフガーデン」を初開催。ワークショップで制作した竹明かりや播州織の風車が光に照らされ、夏の夜を幻想的に彩りました。〔8月9日～16日〕



夏休み宿題チャレンジ

みなみ会の教職員OBや大学生、高校生が小中学生の宿題を支援する「夏休み宿題にチャレンジ！」が市内10ヵ所で行われました。子どもたちは指導を受けながら、一生懸命宿題に取り組んでいました。〔7月22日～8月26日〕



「津万遺跡群」企画展

郷土資料館では「津万遺跡群」をテーマとした企画展を開催しています。旧石器時代から江戸時代にかけての土器や木製品など出土遺物の展示を203点ご覧いただけます。入館料は無料で、会期は9月27日（日）まで。



大阪空襲の悲劇を知る

市では幅広い世代の方に平和への関心を持ってもらおうと、毎年平和展を開催しています。今年は「大阪空襲の悲劇を知る」をテーマに被害状況を説明した写真や解説パネルに加え、空襲体験者の証言や体験画などを展示。戦争が人々にもたらした深い悲しみや平和の尊さを伝えました。〔8月7日～16日／みらいえ〕



世界のキッズモデルが播州織着用

淡路夢舞台国際会議場で開催された「ジャパンキッズファッションウィーク2026」に西脇高校生活情報科の生徒が播州織の衣装を提供。イベントテーマ「深海」をイメージし、新たに織り上げた播州織でデザイン・制作しました。また、国外のキッズモデルの着替えやメイク補助など、会場運営もサポートしました。〔8月8日～9日〕